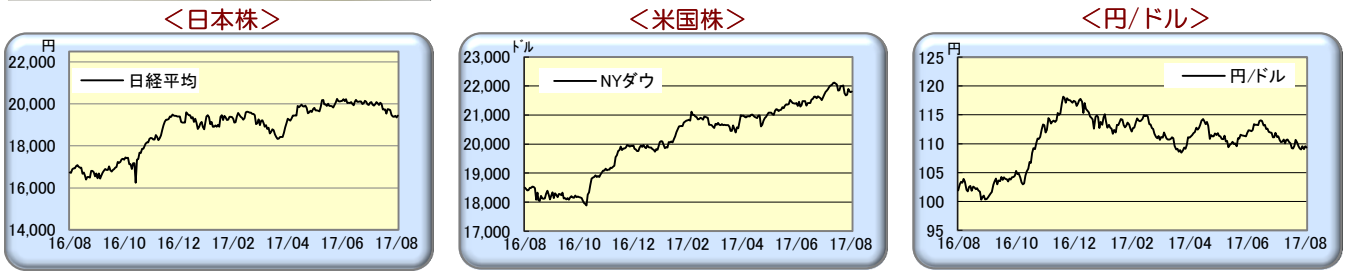


1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2016/12/30	2017/7/31	2017/8/25	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	19,114.37	19,925.18	19,452.61	20,952.71	2015/6/24	14,529.03	2014/10/17
NYダウ	ドル	19,762.60	21,891.12	21,813.67	22,179.11	2017/8/8	15,370.33	2015/8/24
円/ドル	円	116.96	110.26	109.36	125.86	2015/6/5	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り ~ 週初下落して始まったものの、その後は底堅く推移 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲17.80円(▲0.09%)、TOPIXが▲0.37ポイント(▲0.02%)となり、週初下落して始まったものの、その後は底堅く推移する展開となりました。業種別(東証33業種)にみると、鉱業、非鉄金属、繊維製品など15業種が上昇する一方、証券・商品先物取引業、水産・農林業、鉄鋼など18業種が下落しました。週明け21日から22日にかけては、北朝鮮問題に対する警戒感が払拭されないことや最側近のバノン首席戦略官・上級顧問までもが解任されるなどトランプ米政権の迷走が続いたことを受けて、軟調に推移しました。23日は、前日の米国株市場が反発したことや円安ドル高が進んだことなどから、上昇して始まりました。しかし風傾、トランプ大統領が集会で国境の壁を作るためなら予算不足による政府閉鎖も辞さない姿勢を示したことを受けて下落基調に転じ、24日にかけて軟調に推移しました。週末25日は、カンザスシティ連銀のジョージ総裁が9月のバランスシート縮小と年内あと1回の利上げを支持する姿勢を示したことを受けて米国長期金利が上昇する中、円安ドル高が進んだことから、反発して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
8月29日	Tue	日本	失業率	7月 2.8%
			全世帯家計調査 支出(前年比)	7月 2.3%
		米国	S&P/ケース・シラー住宅価格指数(前月比・季調済)	6月 0.10%
			消費者信頼感指数	8月 121.1
8月30日	Wed	欧州	英EU離脱交渉再開	
8月31日	Thu	米国	ADP雇用統計	8月 178千人
		日本	鉱工業生産(前月比)	7月 2.2%
		米国	シカゴ購買部協会景気指数	8月 58.9
		中国	製造業PMI	8月 51.4
9月1日	Fri	日本	設備投資(前年比)	4-6月期 4.5%
			民進党代表選	
		米国	非農業部門雇用者数変化	8月 209千人
			失業率	8月 4.3%
			ISM製造業景況指数	8月 56.3
中国	財新中国製造業PMI	8月 51.1		

決算発表予定	国	決算発表日	発表会社
日本	日本	8/31	パーク
		24 9/1	伊藤園
米国	米国	8/29	ベスト・バイ
		8/30	アナログ・デバイス

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し ~ 投資家のリスク選好の動きが回復してきていることなどから底堅く推移するものの、日経平均20,000円台回復にはもう少しばかり時間を要する ~

今週の日本株市場は、トランプ米大統領の混乱を招くような発言には注意を要するものの、①先週末にかけて開催されたジャクソンホール会合では、イエレンFRB(米連邦準備理事会)議長やドラギECB(欧州中央銀行)総裁から今後の金融政策を予想する上で新たな材料が提供されなかったこと、②北朝鮮は米韓合同軍事演習中に弾道ミサイルを発射したものの、短距離に抑制するなど軍事的緊張を高めないような配慮がみられたこと、③新興国の株や債券、通貨が堅調に推移するなど、投資家のリスク選好の動きが回復してきていること、④バリュエーション面で割安感があることなどから、底堅い展開を予想します。なお、イエレンFRB議長から新たな材料が提供されなかったことを受けて米国経済指標の動向が注目される中、週末に雇用統計やISM製造業景況指数の発表を控えて様子見姿勢が強まりやすく、日経平均20,000円台回復にはもう少しばかり時間を要するとみています。

その他の注目材料として、日本では29日の失業率、31日の鉱工業生産や1日の民進党代表選、米国では29日の消費者信頼感指数や30日のADP雇用統計、中国では31日の製造業PMIなどが挙げられます。

